

藤原純友 貴族から海賊に転じ、平将門の乱に呼応するように、瀬戸内で朝廷に対し反乱を起こした(承平天慶の乱)。

ふじわらのすみとも
..... 893 =

この頃、大宰少貳藤原良範の三男に生まれたという。父の推定年齢から、もう数年早かったとも。
_藤原冬嗣の長男長良の曾孫に当たり、藤原氏の中で最も栄えた藤原北家の出身で、祖父遠経は、前々年に死去した前関白藤原基経の兄ながら異母であり、とくに応天門の変を契機に、基経の養父良房が覇権を握って以来、それまで瀬戸内水運を支配していた大伴氏、紀氏とともに、排除される側の系統に置かれてしまう。父良範が、叔母高子が皇太后になった際に設置された中宮職に勤めることになったものの、基経によって、高子の子陽成天皇が讓位させられるとともに、中宮職も無くなり、地方官に転じていて、出世の道が絶たれていたことが、のちの行動につながっていくと考えられる。

菅原道真左遷 901 = 8歳 :
荘園整理令初 902 = **9歳** :

のちに春宮主殿首となる弟(父の六男)純素が誕生しているの、900年頃までは、父は存命したが、死去年は不明である。

唐滅亡 907 = 14歳 : 唐が滅亡し、東アジアは激動の時代に入るとともに、諸国からの遣使や商人の来日相次ぐが、貿易は維持するものの、政治的には律令政府は慎重に対処している。

藤原時平没 . 909 = 16歳 : 藤原時平が死去し、弟の忠平が氏長者になる。

..... 911 = **18歳** :

..... 916 = 23歳 : 藤原忠平が右大臣となり、政権確立。

..... 920 = **27歳** :

..... 929 = **36歳** :

忠平摂政復帰 930 = 37歳 : 道真の崇りに怯えた醍醐天皇が死去、朱雀天皇即位にあたり、**藤原忠平が摂政になる。**

宇多上皇没 . 931 = 38歳 : **宇多上皇も死去する国の動揺で、海賊の活動が活発になる以前に、伊予掾に任じられ、**

..... 932 = 39歳 : **現地に下向、**

..... 934 = 41歳 : 土佐の任を終えた紀貫之が海賊の横行する海を抜けて、翌年、帰京。***海賊追捕使が定められ、瀬戸内交易を独占しようとする摂関家から、海賊鎮圧を命じられ、**

承平天慶乱始 935 = 42歳 : **関東で、平将門が叔父国香と戦い、乱が勃発したのを知った上で、**

高麗朝鮮統一 936 = 43歳 : 高麗により朝鮮半島が統一される。**_摂津の河尻に戻って、東瀬戸内の海賊集団を組織した上、伊予守紀淑人のもとに合流して、西瀬戸内の海賊を服属させるが、紀淑人が帰任後も帰京せず、鎮圧への恩賞が無いこともあって、伊予に土着すると、西瀬戸内の海賊たちが結集し、日振島を根城に、勢力を拡大、彼らの意向も受けてか、東シナ海方面に進出しようとして、紀淑人に制止されるも聞かなかったため、明確に摂関家と対立することになり、忠平から純友を召喚する通達が出されるが、諸国が対応できないうちに、**

空也念仏始 . 938 = **45歳** :

平将門新皇 . 939 = 46歳 : ***関東で平将門が"新皇"を称したのに呼応するように、畿内に進出、部下の藤原文元に、摂津国須岐駅で、備前介・播磨介を襲撃させ、これを捕らえた。そのことについて、関白藤原忠平の命で、純友の弟純素の子明方が召喚状を携えて派遣され、伊予国の解状と純友の申文を持ち帰るなどするうち、瀬戸内の海賊集団を統轄することができなくなって、それぞれが独自の活動をするようになったため、**

..... 940 = 47歳 : **平将門の乱を鎮圧し、将門を処刑して東国の憂いから解放された朝廷は、西の海賊のシンボル純友を本格的に追討すべく、追捕使長官小野好古、次官源経基による兵を差し向ける一方、当初の海賊鎮圧の功に対して、従五位を授ける懐柔策をとるものの、淡路国以降、瀬戸内各所で海賊の襲撃があり、讃岐国の国府まで襲撃、純友集団と政府軍の軍事的衝突が各所で起こるうち、**

承平天慶乱終 941 = 48歳 : ***大宰府を襲撃するに至って、ついに国は純友を海賊と認定して全面的対決を命じ、博多湾の戦いとなって敗退、子と伊予へ逃れたが、伊予警固使橘遠保に打取られ、首は子の首とともに、都に進上された。現在の純友を祀る新居浜市に中野神社があることから、そこが最期の地ともいわれるが定かではない。以後、瀬戸内の海賊集団の活動は急速に衰えて行く。**